

ぎふ女の  
すぐれの  
もの



ぎふ女の  
すぐれの  
もの

岐阜県 健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課 TEL:058-272-1111 (代表)





## 岐阜県は 女性の創造力を 応援しています。

多様化する社会において時代はジェンダーレスへと向かっています。そんな中、あらためて「女性の視点」を取り入れたモノたちが、独自の価値を生み、企業の業績また社会に貢献しています。女性の細やかな目線で日々の中からアイデアを掏出上げたものが、女性に向けてだけでなく社会全体から共感を得ています。

また、怒涛の混乱を巻き起こしたコロナにより、社会全体の意識が急速に大きく変化しています。SDGsを念頭に置いた取組は、「か」を問われ始めています。SDGsを念頭に置いた取組は、企業活動や社会活動において非常に重要な要素となりました。ここでも女性の発想は、世界各所で大いに発揮されています。

岐阜県では、女性が企画・開発に貢献しているモノやコトから「ぎふ女のすぐれもの」を認定しています。携わった女性に焦点をあて、次代を創る「女性の創造力」を応援しています。



## ぎふ女のすぐれもの認定

女性の獨創性、岐阜らしさ、持続可能性などを審査した結果、本年度3件を認定いたしました。

食・モノ・サービス・取組といった幅広い分野の商品及び活動が女性の創造力により生み出され、新しい価値を創出しています。

## 「ぎふ女」とは？

岐阜県の歴史を紐解いてみると、美濃のママシと称された斎藤道三の娘であり織田信長の妻であった濃姫、明智光秀の娘であり壮絶な人生を遂げた細川ガラシャ、織田信長のおぼであり女性でありながら岩村城主となったおつやの方など、過酷な運命に翻弄されながらも自己を貫いた女性の存在が挙げられます。

『芯のある、強くしなやかな女性』  
それがぎふの女性像のひとつの姿なのかもしれません。



## 清流の国ぎふ憲章

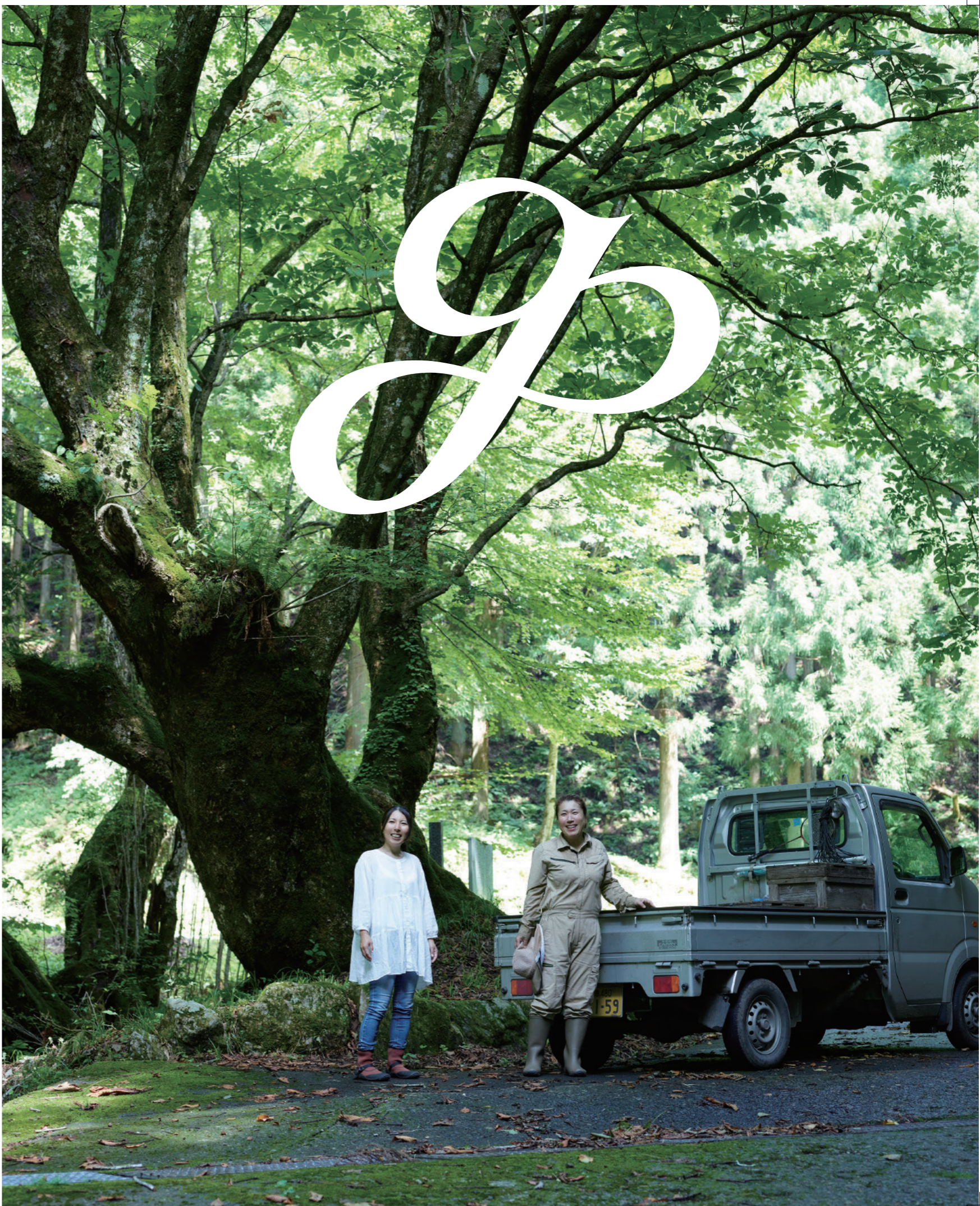
「豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国」  
「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知** 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創** ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

**伝** 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議



じいちゃんがこんな山奥に、  
わざわざ巣箱を置いた理由。  
蜜蜂たちの話を聞くうちに  
少し、わかってきた気がするんです。

筑間美穂  
可兒 優

チクマ養蜂

No.01

もすぎふ  
のぐれ女の

2023

トチの巨木に見守られた森だからこそ採れる、希少なトチの蜂蜜。

No.01  
ぎふ女の  
すぐれ  
もの  
2023



銀のスプーンの上で、黄金色に輝く蜂蜜。山深い森林を  
思わせるふくよかな香り、まろやかなコクと上質な甘みが、  
口いっぱい広がる。どこまでもやさしいのに、どこまで  
も力強い味。山奥にある小さな養蜂場で大切につくられる、  
希少な「トチみつ」だ。

本東市の市街地から離れた山里に、家族で養蜂を営む民  
家がある。加工場の隣にずらりと並んだ巣箱に、蜜蜂の健  
気な羽音が響く。「この先の山奥にも、とちみつが採れる巣  
箱があるので」と車を走らせること90分。ほぼ福井との  
県境、折越峠を超えた先に、樹齢推定360年、樹高18メー  
トルの「大栃の木」がそびえていた。さらに奥へ入ると、  
電波が一切届かない山奥にひっそりと、蜂たちの仕事場が  
あった。

採蜜は、朝日の眩しい朝しほり。昼間に集めた蜜は、働  
き蜂たちが夜に巣で羽を震わせて水分を飛ばす大切な工程  
がある。巣の中で濃縮・熟成され、濃厚な味わいになった  
蜂蜜を、早朝、糖度の高い状態を見極めて丁寧に採蜜する。

姉妹ふたりで、飼育や採蜜から瓶詰め、販売までを担う「チ  
クマ養蜂」。姉の美穂さんが主に飼育を、妹の優さんが販売  
を担当している。その原点は、1984年頃に祖父・仁一  
さんが趣味で始めた養蜂だった。一箱だったはずの巣箱は  
どんどん増え、やがて山奥でも採蜜をするようになった。父・  
孝成さんがそれを受け継ぎ、専業養蜂家として本格的に事  
業化。しかし、2009年の採蜜シーズンを間近に控えた

春の日、孝成さんが事故で急逝。姉妹は右も左も分らない  
まま、父が遺した600群の蜂たちと巣箱を引き継ぐことを  
決めた。

自生のとちは、花を咲かせるまでに40年以上の歳月を要す  
る。かつての日本の山間にはとちが多く自生し、とちみつも  
ポピュラーな蜂蜜のひとつだったが、土地開発により森林が  
減少し、純粋なとちみつは今や、希少なものになってきた。

チクマ養蜂のとちみつは、2018年に受賞した「農林水  
産大臣賞」をはじめ数々の賞を受賞している。「蜂は飛び回  
るので、巣箱の周辺環境がとても重要。こんな山奥なら農薬  
の影響もなく、どれだけ飛び回ってもありのままの自然の中  
でのびのび蜜を集められるんです。祖父がここを開拓した理  
由も、父が足繁く通っていた理由も、少しずつわかってきた  
ような気がします」と美穂さんは笑う。溪畔林で育ち、毎年  
立派な花をつける自生のトチの巨木と、どこまでも手付かず  
の自然。祖父と父が「山の味がする」と褒め称えた、昔なが  
らのとちみつの純粋な味わいが、令和の今、ここに確かに存  
在している。

現在チクマ養蜂では、れんげやとちのほか、桜、藤といっ  
た様々な種類の蜂蜜や加工品、蜜蝋ラップなども手がける。  
蜜蝋を使ったワークショップも人気だ。養蜂場を創り上げた  
祖父、その想いを継いだ父が残してくれた、未来に残したい  
山の味。姉妹は今日も手を取り合いながら、この味を大切  
に守り続けている。

トチ蜜

- 50g 530円
- 90g 950円
- 500g 3320円(税込)

チクマ養蜂

岐阜県本東市木知原591  
TEL 0581・32・5888  
FAX 0581・32・5688  
<https://www.chikumayouhou.com/>





自分の内側に湧き出てくるものを、  
鏝こてと手に任せて、ありのままに描く。  
自然素材が生み出す色とテクスチャに  
一番驚いているのは、私かもしれません。

中嶋いづみ

左官アート koteto

No.02

ぎふの  
すぐれ女の  
もの

2023

鏝に導かれるように生まれる、漆喰と藍の、静謐と躍動。

No.02  
ぎふ女の  
すぐれ  
もの  
2023



自然界に溶けゆくように解き放たれる、青と白。大海原の激しい波しぶきにも、刻々と姿を変える青空と雲にも、仄暗い水底をかすめる架空の光にも、見えてくる。垂井町にあるアトリエに、真っ白なカンバスに向かう後ろ姿があった。左官職人アーティストの中嶋いづみさんは、左官の鏝と漆喰を用いた抽象画を描いている。以前から、石や土などの自然素材に興味があった彼女は、2015年に参加した漆喰塗り体験をきっかけに、左官の世界にのめり込んだ。伝統左官職人のもとの厳しい修業も経験し、職人として左官仕事も続けながら、独自のアート技法を考案、日々作品に向き合っている。「まずは足元にあるものから、その広がりを楽しんでいたい」と、材は大垣の金生山の石灰を使用。石灰に糊やササと呼ばれる繊維材を加え、水で練ることで漆喰をつくる。下塗りしたカンバスに、その漆喰を鏝で塗って乾かし、さらに塗り重ねることで、ベースとなる「白」の部分をつくり上げる。

色の表現に用いるのも、古来から染料として使われてきた藍や炭、ベンガラなど。漆喰に藍染めの麻を混ぜて色をつくり、鏝に取って目の前の白に重ねていく。鏝を持つ手が動いた際に、素材が擦れ合う鋭い音が響く。白の上に広がる鮮やかな藍色が、漆喰の質感によってさらに躍動感を増していく。

実は、漆喰に藍を綺麗に発色させるのはかなり難しいとされていたが、彼女は試行錯誤を繰り返し、独自の配合を



発見した。そこから様々な方法を研究し続け、今は表現できる青の幅が広がってきた。それでもまだ、藍との対話は終わらない。自然素材である藍は、塗った瞬間から刻一刻と色味や濃淡が変化していくうえ、その変化に法則性がないため、数日後の色味のバランスは未知の世界だという。繰り返し描いていくことで、偶然と必然のあわいからぼつと芽を出すように、思惑を超えた作品が生まれることもある。「これこそが、自然の素材の奥深さ、難しさであり、一番の面白さでもあるんです」と、中嶋さんは微笑む。

「自分の中に湧き出るものを、鏝と手に任せて描いている、ただそれだけ。自分の神経と本能をつなぐような感覚で手を動かしているんだと思います。とにかく内側から生まれてくる感覚を察知して、そこに集中します。そうすると、鏝が行き先を覚えてくれるんです」。中嶋さんは言葉を一ひとつずつ大切に紡ぎながら、作品が生まれる瞬間のことを、そう話してくれた。

近年は、県内外でのイベントや個展、さらには書家やアーティストとのコラボレーション作品の展開など、個人作家の域を出た広がりを見せている。藍の安心感の中で存在を認識する、白の緊張感。空や波、水や海底を描いているようで、そうではない何かを見つけられるのが彼女の作品の深さだ。自然と一体となったその一瞬から生まれる躍動が、彼女の鏝と手と共に吹き抜けてゆき、作品を目にした人の心の深部に、届いていくのだろう。

左官アート

k o t e t o

大垣市赤坂町202-1  
art.koteto@gmail.com  
<https://koteto.jp/>



あたたかいおひさまの陽が、  
みんなにちゃんと、当たるように。  
介護というのは、明るい未来を  
つくる仕事でもあると思うんです。

正村直美

株式会社ハートコンサルタント

No.03

ぎふの  
すぐれの  
もの女の

2023





まるで異国のリゾートを思わせるような優雅な空間で、料亭出身の板前が腕をふるう旬の御膳を味わう人たち。楽しそうな笑い声がロビーにまで響いているこちらは一見旅館のようである、実は「おひさま」という名の介護福祉施設。「ここで理想の老後を過ごしたい」と、入居や通所を希望する人が後をたない人気ぶりだ。

訪問介護事業を開始した2014年から、住宅型有料老人ホーム、障がい者グループホーム、訪問看護ステーションに診療所、託児所と、子どもからお年寄りまで様々な人の暮らしを支える施設やサービスを展開してきた「株式会社ハートコンサルタント」。2022年には、郡上市のひるがの高原にリゾートホテルのような「おひさまの大地」を新設したばかりだ。「おひさま」という小さな「村」には、暮らしに幸せが感じられる、理想の居場所がいくつも存在している。

この村を育て上げてきたのは、代表の正村直美さん。幼いころ祖母から「あなたは私にとっても優しくしてくれ。その優しさをたくさんの人に伝える仕事をしてほしい」と介護の道を勧められ、当時は「寮母さん」と呼ばれていた介護士を志す。

入居者が殺到してキャンセル待ちが出ればすぐに別棟を新設したり、スタッフの多胎妊娠を機に託児所をつくったり、安心して診てもらえる場所を作りたい一心で診療所を設けたり…。料亭出身の板前がオープンキッチンでつくる旬の



食事も、旅館のような畳廊下や露天風呂も、すべては正村さんの「この人のため、あの人のためにこうしたい」という気持ちが生み出した。今の体制やサービスに繋がってきた。「鍵をかけた」というのも、正村さんの信念のひとつ。施設には認知症の方も多いため、徘徊対策として玄関には幾重にも鍵がかかっている施設が一般的だが、「おひさま」の玄関には、鍵はかかっていない。その理由を問うと、正村さんはさも当然のようにこう話す。「おひさまという場所は、いつだってお客様本意。もし自分だったら？目の前のお客様が自分の親だったら？と心に問いかけて、空間やサービスをつくってきました」。鍵がなくても安全を確保できるよう、入り口には複数の事務スタッフが常駐し、外出を希望する人たちが優しく見守る。「どこに行かれますか？私もちようど用事があったんです」と一緒に歩いて行き、雑談でもしながら周囲をぐるりと歩いて戻ってくる。すると、満足そうな表情で「じゃあね」と、お部屋に帰られるのだと語る。

「最期の瞬間まで、自分らしく、そして人間らしく生きてほしい。楽しい人生だった、と笑顔で旅立っていただく、そのお手伝いがしたいんです。これからも、人生の先輩方と一緒に、介護という大好きな仕事を私自身も楽しませていただきながら、できる限りの努力を続けていきたいです」。そう話す正村さんの笑顔は、あたたかな陽だまりそのものに心で優しく寄り添う気持ちだが、この村から明るい未来に繋がっていく。

職員は謙虚と感謝を忘れず、利用者様には感動と満足を提供する

株式会社ハートコンサルタント  
 岐阜市茜部寺屋敷2丁目41・2  
 058・276・1366  
<http://ohisananogao.com/>





## コロナ社会から浮き彫りになる 地方の価値

全世界で猛威を振るった新型コロナウイルスがもたらした混沌の社会生活も、今年に入りようやくその出口への扉が開き始めました。多くの物事が以前と同じ日常へ戻ろうとする中で、コロナ禍に生まれた生活がより良いアップデートとして残り、結果、社会を急速に進化させるという副産物を産みました。甚大な犠牲を払いながらも、私たち人間は、いつどんな時も、知恵を絞り協力しあいながら、前に進んでいく逞しさがあることを証明したとも言えるでしょう。期せずして時代は、SNSなどネットワークを活用して、何処にいてもリアルな情報を発信することが可能となりました。通信インフラの発達には、リモートでも十分仕事ができることを多くの人に実感させ、結果、大都市圏の持つアドバンテージの一部は失われつつあります。

コロナ社会は人間の根幹に問いかけています。「あなたはどうかしたいのか」と。地方で、風土・文化・歴史の恵みを生かした、安心・安全な暮らしを手に入れたいと考える人は、確実に増えています。

## すぐれものが体現する 明るい未来を目指して

「ぎふ女のすぐれもの」はこれまでも、身体に優しい商品や、商品生産過程で出る資源の再利用など、暮らしの中からの「女性の気づき」を開発等に生かした商品を認定してきました。そのモノ自体がすぐれているというだけでなく、そこにある理念やそれに至った取組の姿勢など、社会の新しい考え方や生き方の変化に順応した、持続可能な社会の実現という点に注目して認定を行いました。

ぎふ女のすぐれもの認定者には、それぞれ素晴らしいストーリーがあります。「わたしはこう生きたい」という心の声をそのまま形に成したようです。今の時代を生きる人たちに多くの共感を与え、未来を指し示す、まさに「すぐれもの」と言えるでしょう。このようなすぐれものが、岐阜の女性から生まれ、社会をアップデートする大きな力へと変わっていく未来を、私たちは想像し、応援しています。

食

01



プリン・プリンセス
株式会社AQプランニング
糖質オフ&グルテンフリーと甘さを両立したプリン。
4個入 /1,944円

02



達磨正宗
アイスクリームにかけるお酒
合資会社白木恒助商店
パナラアイスとの相性が良い、日本酒を熟成させた「古酒」。
ライトタイプ /1,677円
ヘビータイプ /7,623円 各120ml

03



鮎果鈴 (あゆかりん)
長良川温泉女将会
社会福祉法人いぶき福祉会
岐阜県産小麦に幹いた鮎の骨、天然鮎の魚鱗と飛騨山椒を練り込んだ、大人のかりんとう。
1袋/386円

04



飛騨高山産米粉のカップケーキ
ホワイトルンゼ
アレルギーを持つお子さんにも安心。
7大アレルギーフリーのカップケーキ。
ミニサイズ1個人 /237円 [冷凍販売]
ミニサイズ2個人 /518円 [冷凍販売]

05



ハリヨの柿酢
株式会社リパークス
地元海津産の高糖度に育つ柿を使用し、水は一切使わず仕込む天然発酵酢。
100ml/1,458円 720ml/3,888円

06



ふりかける醤油 飛騨山椒
山川醸造株式会社
鮮烈な山椒の香りとたまり醤油の旨味が広がる岐阜ならではの焼塩。
20g /648円

07



柿みつ
合同会社三藤
規格外の富有柿から生み出した、純度100%の柿みつ。
100ml/1,296円 180ml/2,160円

08



トマトづくしギフト
一般社団法人ジバスクラム恵那
フードロス削減を目指し、規格外だったり市場出荷できない完熟トマトを加工したギフト。
5,000円

モノ

09



スノーワイヤー酵母
日本酒の保湿液
アトリエキョウ有限責任事業組合
郡上の酒蔵で作られる花酵母で仕込む日本酒を使った保湿液。100ml/3,520円

10



進化系おしゃれマスク
株式会社エスト
ファッションの一部として楽しめる、デザイン性のあるマスク。1つ594円〜

11



Math Salt
有限会社大橋量器
橋で使われる輪の香りを楽しめる、新しいバスマイテム。各880円

12



タフシロン
人工筋肉膝サポーター ホールド
株式会社タナック
医療現場で使われているシリコン (タフシロン) 素材を、膝の筋内に沿って加工した膝サポーター。1個 /3,190円

13



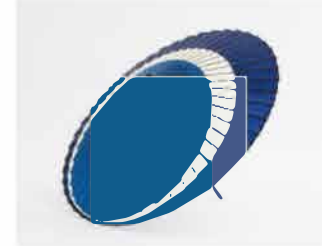
除塩素入浴料
おぶろシリーズ
株式会社水生活製作所
水道水中の残留塩素を除去して、湯ざわりをまろやかにする入浴料。10包セット/1,980円

14



おろし上手 食育セット
ヤマ忠木製陶器合資会社
子どもにも本物の美味しい離乳食を食べさせた、陶磁器のすりおろし器と小さなうつわのセット。1セット/13,200円

15



蛇の目傘 三日月
今日和
手漉し和紙で描かれるシャープな三日月に黒竹の持ち手を合わせた、モダンな蛇の目傘。58,300円〜

16



網代日傘
高橋和幸商店
歴史博物館に展示されていた優美なデザインを再現し、装飾的な糸かがりなど独自の技を加えた繊細な和傘。66,000円〜

サービス

20



キレイをかなえる女性専用ローン
Bi-sket【ビスケット】
株式会社大垣共立銀行
エステや美容整形などの目的で利用できる、美しくするための女性専用ローン。

21



介護エステケア (高齢者向けエステサービス)
特定非営利活動法人ひだまり創
外見が変わると心も変わる!心身状況に合わせて顔や手脚のケアを行う高齢者向けエステサービス。基本料金50分 /3,850円

22



陶育
美濃焼を正しく楽しく使うことを学ぶ
美濃焼おかみ塾
陶磁器一大産地の土岐市から発信する、子どもたちに美濃焼の魅力を伝える活動。

23



不妊治療関連ローン
Futari-de【フタリ・デ】
株式会社大垣共立銀行
「子どもを授かりたい」というご夫婦の願いをサポートするために生まれたローン。

24



市民講師を招いた体験型のアフタースクール
ヒトノネ (現:一般社団法人ヒトノネ)
魚屋さんや和菓子職人、建築家など、地元のプロを講師として招く、子どもと地域がつながる理想の学習。
長期休み:1日 /3,500円〜
平日:2時間〜/月額9,000円〜
※その他入会金等が別途必要

25



飛騨えごまの小宿 萬里
有限会社萬里
自家製のえごま料理で、飛騨の伝統食を未来へつなぐ宿。
一泊二食付き大人1名8,700円〜

26

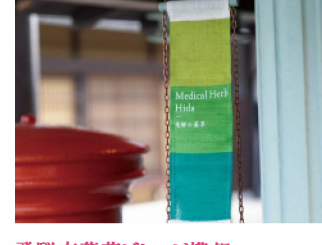


蔵のある町屋の宿
「帰蝶(きちよう)」
一般社団法人サステイナブル・サポート
心や体が整わない精神障がい、発達障がい等で、働きなくなった女性の就労継続支援をする活動を展開。

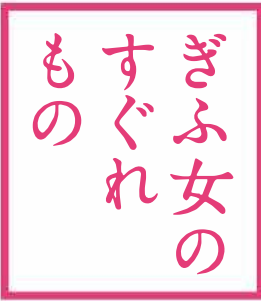
(表記価格は全て税込)

取組

27



飛騨市薬草ビレッジ構想
推進プロジェクトへの取組
飛騨市地域おこし協力隊
(現:地域プロジェクトマネージャー 岡本文)
森林が面積の9割を占め、245種類の薬草が自生する飛騨市で、薬草の魅力を伝える活動を展開。



ぎふ女のすぐれもの
認定品一覧